



大金星

南信州米俵保存会



右・表紙：国技館の土俵（写真提供/日本相撲協会） 左上：白毛餅米を栽培している上伊那農民組合のメンバーたち 左下：米俵を作る南信州米俵保存会の酒井裕司代表

上伊那の伝統 土俵へ

大相撲の土俵は国産の稲わらをシート状に手編みした「こも」で土を包んでつくられます。これが信州産であることをご存じですか。2018年秋からは、本場所、巡業場所、そして各相撲部屋とも長野県飯島町の「南信州米俵保存会」が製作した「こも」が使われています。11月の九州場所からは、9月に収穫した新米のわら、それも上伊那産の「白毛餅米」のわらが主な材料です。

白毛餅米は飯島町を含む上伊那地域で古くから栽培されてきた古代米。穂から白い毛（フギ）が生え、稲丈がコシヒカリなどの2倍近い150cm近くまで伸びるのが特徴です。こもの発注を受けた保存会の代表、酒井裕司さんは、すぐにこの米を思い浮かべました。長いわらで編めば節や継ぎ目が目立たず、丈夫で美しい製品ができあがります。

白毛餅米のわらは太く、柔らかく、加工しやすいのもポイントでした。「しかも『白毛』が『白星』に、餅の『ねばり』が力士の『ねばり』に通じます。これほど土俵にふさわしいわらはありません」

背が高いため風で倒れやすく、栽培がむずかしい白毛餅米ですが、「この地域が南アルプスと中央アルプスに挟まれ、台風などの風の勢いが弱まるのが、在来種として存続してきた理由のひとつでしょう」と、酒井さん。今年は大形で非常に強い台風2つの直撃を受けましたが、なんとか持ちこたえ、豊作の秋を迎えました。倒れず「土がつかない」との験担ぎも、大相撲関係者を喜ばせたそうです。

酒井さんは12年前に飯島町に移住しました。みごとに山景色に魅力を感じる一方で、過疎により祭りや行事が年々消滅し、活気が失われていく様子も目の当たりにし、地域おこしの団体に入会。何かできないか模索しているとき、思いついたキーワードが「米」でした。

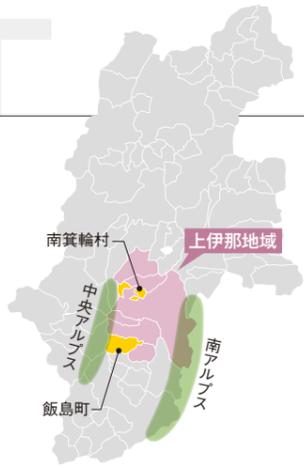
「飯島町はかつて幕府直轄の天領。年貢米の集約地で、秋には陣屋前に米俵が高く積み上げられたことでしょう。現在も耕作地の8割は水田です。それに『飯島』は『めしのしま』とも読めます」そこで伝統ある「米俵」を担いで走る「米俵マラソン」を企画。全国から50人のエントリーがありました。

ところが想定外の事態に直面します。地域で米俵を作る人は、なんと80代後半の2人だけ。稲作農家なら誰でも米俵を作るものと思いついていた酒井さんの誤算でした。数週間後の大会までに高齢の作り手に50人分の米俵を作ってもらうのは無理な話。外部から購入する予算もありません。自分たちで作ることを決意した酒井さんは急ぎよ長老のもとで修業し、技術を習得します。

「当初は1俵に3時間以上かかり、目の前が暗くなりました。でも、わらの束を自分の手で思い通りの形にしていく過程はおもしろく、奥深く、編むほどに伝統の重みを実感できました」。初の大会をなした酒井さんの胸を熱く満たしたのは、達成感とともに「この大会が続けば、地域の稲作と稲わら文化も続いていく」という手応えでした。

米俵の作り手は全国的に減り続けています。同時に、しめ縄などの祭祀具や縁起物も外国産に依存している現状を知った酒井さんは、「わらを生かした地域おこし」の事業化を検討。「南信州米俵保存会」を設立し、地域産の稲わらを地域の人々の手で加工した米俵やわら細工のPRに努めます。

こうした活動が大相撲関係者の目にとまり、地域の文化だけでなく、相撲という日本の伝統の一翼を担うことに繋がりました。上伊那の伝統とそれを支える人々の熱意と努力が、力士たちの力と技がぶつかり合う闘いを土俵際で支えています。



白毛餅を地域の宝に

米俵やわら細工を作る伝統技術、そして在来種の古代米の栽培。土俵の「こも」受注は、二つの伝統を結びつけ、それぞれを未来に残していくための力となっています。

18軒の農家が守りはぐくむ種と伝統の味

白毛餅米は稲丈が高く風に弱いこと、古代米の強い生命力で、倒れて水分を吸収するとわずかに数日で発芽してしまうこと、コシヒカリなどの7〜8割程度の収量しか得られないこと、さらにはもみに生えている毛（ノギ）が機械にはさまって刈り入れや脱穀の効率が悪いことなどから栽培農家が減り続け、絶滅の危機に瀕していました。

しかし、貴重な種子を絶やさないとい995年、地域の農家が集まり上伊那農民組合を発足し、3年がかりで種もみを増やします。1998年からは組合員の農家18軒が本格的な栽培をスタート。地域の特産米として復活し、現在では約7割、650俵を収穫しています。

種子の保存

地域のごく一部の農家が自家用に細々と栽培を続けてきたことにより、白毛餅米の種子はほぼ原種のまま継承されてきました。農民組合では稲の起源研究の第一人者、佐藤洋一郎氏（農学博士）の指導を受け、ノギや茎が長い、収穫量が少ないなどの特徴から古代米の一種だといわれているこの種について種育方法を勉強。種子の管理、保存に努めています。

白い田んぼ

穂が出る8月中旬頃、白毛餅米の水田は一面真っ白なノギに覆われた。白い田んぼ」となります。その美しい風景は伊那谷の新たな観光資源としても注目されます。



出穂期の「白い田んぼ」



白毛餅米
草丈150cmほどになる

コシヒカリ



上伊那農民組合の代表・白毛餅栽培農家 竹上一彦さん(右)と営業部長で農産物検査員の弦巻吉春さん(左)

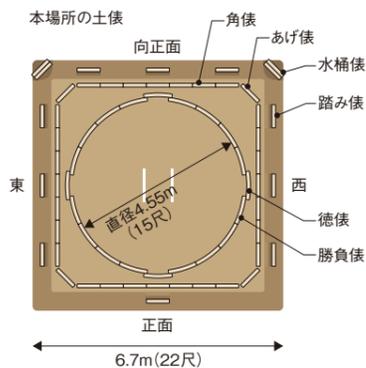
ねばりよし、味よし、白毛餅



白毛餅米でつくる「白毛餅」は、よくねばってのびがよく、よい香りとはのかな甘さを持ち合わせています。長年この餅に親しんできた地元の人々は「昔ながら」と懐かしがり、市販の切り餅に慣れた都会の人々は「風味が力強い」と感動するといえます。上伊那農民組合産直センターほか地元スーパーなどで購入可。

■上伊那農民組合産直センター
TEL 0265-73-0785 FAX 0120-972-952
http://www.janis.or.jp/users/mijima/
インターネット通販 https://www.shirakemochi.co.jp/

国技にふさわしく国産の素材を手作りによって仕上げる伝統を守っています。大相撲の土俵ができるまで



土俵

俵を置いて土を盛って固め、取り組みを行う土俵場を作ります。動力機械は一切使わず手作ります。これも「呼出」の仕事です。



俵

こもに土を詰めてつなぎ目を編んで俵にします。俵作りは力士を呼び上げる「呼出(よびだし)」の仕事です。勝負俵、徳俵、角俵などいくつかの種類に合わせた俵が作られます。



こも

わらと麻ひもを用い、シート状に織りあげたもの。長辺1.2m×短辺36cmの場所用をはじめ、巡業用、部屋用など用途に応じたサイズに仕上げます。本場所、巡業、各部屋合わせ1年間で2,600枚以上が使われます。



稲わら

刈り取った稲から初(もみ)をはずした後のわらが原料となります。十分に乾燥させて使います。



米

稲には神が宿るともいわれ、神聖さを象徴する植物でもあります。



萬福俵(貯金箱)



わらいずみ



南信州米俵保存会
http://komedawara.net/
Facebook
https://www.facebook.com/komedawara.cat/



猫つぐら

わら細工の可能性に挑戦
ユニークな猫グッズ、貯金箱など実用と遊び心に満ちたわら細工を製造販売。日本の伝統を支えていく使命感を持ち、国産品の需要に応えています。

地元産の稲わらを用いて編み込んでつくったわら細工製品



米俵マラソン
2018年は11月25日に開催。全国から900人がエントリーする大会に育ちました。

南信州米俵保存会の合言葉は「伝統と遊び心」。手でわらを編む伝統を引き継ぎ守りながら、遊び心に満ちた新しい発想で地域を元気にしていこうと、常にアイデアを練り、磨いています。また、わらを編んで確かな製品を作ることのできる技術者の育成にも取り組み、わら細工を地域の事業として発展させることを目指しています。

伝統と遊び心が地域を元気に
南信州米俵保存会の地域おこし

効率作業を支援するミヤマのe-navi

e-naviは複雑な廃棄物管理業務を効率化するインターネット上のサービスです。廃棄物収集運搬車両の現在地確認や作業状況の把握、webを使った集荷依頼から行政への提出書類(産業廃棄物管理票交付等状況報告書)のダウンロードまで、お客様のあらゆる廃棄物管理業務をトータルサポート致します。

報告書の集計も簡単

マニフェスト情報は一元管理され、年度ごとの集計ができます。



集計結果は、産業廃棄物管理票交付等状況報告書にご利用いただけます。

引き取り予約日から現在の運搬状況までを確認

配車状況

引取状況

収集運搬状況

引取品数	出発地 出発日時	現在地	到着予想 時間	目的地 到着日時
引取品 (1)	ミヤマ株式会社 燕工場	FRP V/C #3 13t 長野XXXXはXXXX ミヤマ太郎		〇〇株式会社△△工場 01/25 11:00
引取品 (1)	ミヤマ株式会社 上越工場	FRP V/C #3 13t 長野XXXXはXXXX ミヤマ太郎 〇〇県〇〇市〇〇町付近	16:53	〇〇株式会社△△工場 01/23 17:10
引取品 (1)	〇〇株式会社 △△工場 01/23 09:35	荷降し中 クレーン 13t 長野XXXXはXXXX ミヤマ太郎 長野県中野市〇〇〇		ミヤマ株式会社 中野工場 01/23 14:51

到着予想時間を確認

引取車両の到着予想時間が表示されます。この時間は渋滞など走行状況で変化します。

作業状態を把握

走行中・作業中・荷降し中など現在の作業状態が表示されます。



- : 引取に向かう走行
- : 引取後の走行
- : 遅延発生時

「運搬状況」画面

e-naviの機能

1. 許可証の閲覧・印刷
2. 運搬状況の閲覧
3. 実績報告
4. 電子マニフェスト登録
5. 引き取り予約
6. お知らせの閲覧

※ご利用にはインターネットに接続可能なPC等が必要です。
 ※二段階認証と暗号化通信によるセキュリティ対策が施されています。
 ※一部開発中の機能もございます。

■詳細は、弊社営業担当までお問い合わせください。

